

腎機能に応じた薬物の投与方法を提案した例

プレアボイドとは薬学的ケアから患者の不利益（副作用、相互作用、治療効果不十分など）を回避あるいは軽減した事例を意味します。今回は、腎機能に応じた薬物の投与方法を提案し、安全な薬物療法の提供に寄与できたプレアボイドを紹介いたします。

患者背景

▶原疾患の治療目的で入院された患者

【院内処方（一部抜粋）】

アモキシシリンカプセル 250mg 1回 1CP、1日3回

【採血結果（一部抜粋）】

個別化 eGFR：25.9 mL/min



Iさん

Iさんのことで相談があります。
アモキシシリンが開始となっていますが、腎機能が高度に低下しております。
アモキシシリンは腎機能が高度に低下している場合、投与間隔の延長が推奨されている薬剤です。現在の1日3回の処方について、投与間隔を延長するのはいかがでしょうか。

腎機能が低下していますね。
投与方法はどうしたらいいでしょうか。

腎機能が高度に低下している場合、1回 250mg～500mg を12時間毎に服用することが推奨されております¹⁾。

ありがとうございます。
それでは、1回 1CP、1日2回に変更しましょう。



薬剤師



医師

その後、アモキシシリンは提案通り処方され、有害事象なく経過し、治療終了した。
腎機能に応じた薬物の投与方法を提案し、安全な薬物療法の提供に寄与できた。